

庭園

京都教区山城第一組東光寺御門徒の木村様より、石塔と灯籠を当院庭園に御寄進いただきました。庭園北西側と中央部にそれぞれ設置され、新しい庭園の景観の一部として多くの方に御覧いただけるようになります。また、池に流れる小川も施工されました。



四月の法座案内

「歎異抄」を読む／蓮如上人を訪ねて

四月十三日(木) 九時半～

三日講については、現時点では四月までを予定しており、四月以降の三日講開催の詳細については、当院本堂工事の状況によって、追ってご連絡させていただきます。

慶讃法要が厳修されます

三月二十五日～四月二十九日(九日～十四日は讃仰期間となります)まで、真宗本廟(東本願寺)にて宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年の慶讃法要が厳修されます。五十年に一度の法要となりますので、是非一度ご参拝ください。

修復中の本堂について

掲載しております本堂の工事は、三月の時点では八月以降の竣工を予定しております。使用可能時期などは、改めて紙面、HPでお知らせさせていただきます。

維持費のお願い

四月より新年度となります。御門徒の皆様には例年お願いしております別院維持運営費の御案内を同封させていただいております。内容をご確認いただき、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【列座のしづみやき】

一月末に京都でも大雪がありました。多くの方が遅延や見合わせによる影響を受けたかと思えます。

私は石川の実家から京都に戻ってきている最中でした。自分の電車の到着時間が遅延することに苛立ち、帰宅困難者を横目に帰宅して安心していい。危機的状況でこそ、「自分さえ良ければいい」という思いが露呈するように思います。(松岡)

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派(東本願寺)

岡崎別院

〒606-8335
京都市左京区岡崎天王町26

電話 075-771-2921
FAX 075-748-1665
http://okazakibetsuin.com
info@okazakibetsuin.com



今、整備の中で問われていること

第55号
令和5年(2023年)
4月・5月・6月
発行：編集
岡崎別院
輪番 福田 大

真宗本廟(東本願寺)では、只今、『親鸞聖人御誕生八〇〇年 立教開宗八〇〇年』慶讃法要の第一期法要中である。全国から有縁の方々がこの慶讃法要に遇うために諸般の都合を付け、時間を作り、ご参詣されていることである。慶讃法要厳修中、真宗本廟(東本願寺)では、御影堂・阿弥陀堂をはじめ境内のあらゆる場を開き、ご参詣の方々のおもてなしの空間となる。いわば東本願寺境内すべてを器として職員を挙げて、ご参詣いただく方々へのおもてなしの空間となるように思う。

この慶讃法要のおもてなしの空間(器)にかけられた労力も多大であった事だろう。当院においても、二〇二一年九月七日に本堂御本尊の動座式を皮切りに、同年十一月には庫裏の解体工事が開始され、同時に仮事務所が設置がなされ、早一年半の歳月が流れた。冬は寒く、夏は暑く、狭小で劣悪な中でプレハブ生活にも辟易とし、早く快適な空間(器)を待ちわびる日々が続いている。

本堂は、御本尊動座式後、即、仏具の搬出、その後、素屋根の設置、瓦の総降ろし、瓦下の土の搬出、木部の修復と取り替え、耐震強度補強、瓦の総葺き替え、壁の塗り換え等を経て、二〇二三年五月には修復済の仏具搬入、本年

八月には本堂と仏具の引き渡しの予定となっている。

一方、庫裏の建築については、二〇二二年十二月二十日から庫裏(住宅棟)の基礎工事が着工され、二〇二三年四月には庫裏(書院棟)の基礎工事が終了し、本年十二月中旬頃には、引き渡し完了の予定である。また、土木、外構工事については、庫裏引き渡し後、三ヶ月後の二〇二四年三月末日までの工期を経て、整備(器)事業すべての完成となる予定である。

食事をするには、食器があり、その中には食材を使った料理が盛られる。家族の器は自宅であり、ここでは悲喜こもごもの生活が営まれる。お寺の器(境内、本堂や庭園や館すべて)は、仏法を聴聞していくおもてなしの場である。

例えば、食器のなかにどのような食材で何を料理して、食器に盛り付けて頂くのか。それは、お寺の器(おもてなしの場)にとっては、教化活動の場であることに違いないだろう。お寺の整備事業とは、器の環境を整えると同時に、その器を使った教化の充実を図ることに主眼がある。

お寺の整備(器の整備)に目途がつき始めた今、改修完成目前の本堂、建築目途の立った庫裏(住居棟・書院棟)から、「お前は、ここでどのようにな教化の活動をしようとしているのか」と、問われているように思う。

今、建物の全貌が見え始め、教化の方向を有縁の方々、共に話し合いながら、境内の充実を図って行く所存である。

本堂内部



新しい土壁



本堂余間



北側から望む後堂



後堂



入口から見た本堂



内陣床

本堂内陣の土壁が新たに施工されました。東側は花部屋、北側には仏具庫ができる予定となっております。

増幅された後堂には窓、扉が設置され、今後ゆとりをもって後堂からの出仕、お給仕ができるようになります。

本堂内陣の床板が設置されております。今後は若林仏具にて漆の補修等が行われ、八月に工事終了を予定しております。

山門



修復後の門扉



瓦葺き替え完了



門扉設置

山門屋根の補修、瓦の葺き替えは、二月上旬に完了しました。堀の周囲の樹木も根起こししていたり、修復中の扉も設置され、従来の姿が戻っていきます。

茶室





お茶室は、床下に冷暖房設備が設置され、新しい土壁の塗りが施されています。

整備工事進捗状況

本堂屋根工事完了



耐震強度補強、柱の根継ぎ補修、瓦総葺き替え、壁の塗り替え等の工事を終え、素屋根が解体されました。現在は本堂の内装工事を施工いただいております。掲載が素屋根解体後の本堂屋根になります。綺麗に瓦が整列され、以前より課題であった雨漏り等の心配も無く安心して参拝していただけるようになっております。

解体の様子



庭園から望む本堂



本堂西側



クレーン車両による骨組み降ろし



足場の骨組解体



シート撤去

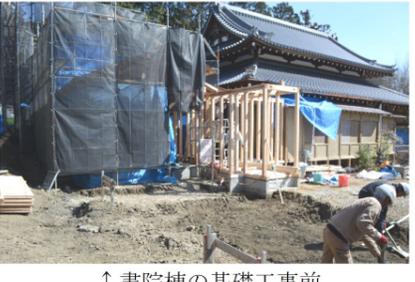
庫裏(住居棟)工事着工



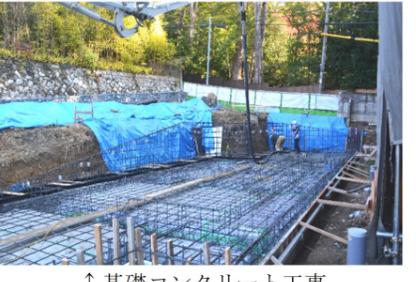
↑住居棟工事



↑基礎工事施工前の本堂裏



↑書院棟の基礎工事前



↑基礎コンクリート工事

年末より、庫裏(住居棟部分)の基礎工事が本堂裏にて始まり、棟が立ちあがりました。庫裏は、北側から住居棟、書院棟、会館棟の順に工事が行われます。三月上旬の段階では、書院棟基礎工事前の根切り工事が行われております。